

# ひだか樹魂まつり



第45回ひだか樹魂まつりが、7月23日と24日の2日間にわたり、日高山岳ピラパークで開催され、町内外からたくさんの方々が登場されました。1日目は毎年恒例の「観光踊りパレード」からスタート。パレードには町民だけではなく、町外から来場された方も加わり、日高観光音頭へのせ、会場を囲んでの輪踊りが見られました。



ステージイベントでは町内の方で構成された「レイアロハ」によるフラダンス、富川元町振興会「蛭太鼓」の演奏など、会場は大いに盛り上がりました。ステージプログラムのトリを飾る、当町出身のシンガーソングライター中田雅史さんによるミュージックライブでは、中田さんの深みと温もりのある歌声が会場を包みみました。1日目のファイナーレ「沙流川花火大会」では、約1,500発の花火が打ち上げられ、夏の夜空に大輪の花が咲くと、会場からは大きな歓声が上がりました。



2日目、「木こりさん競争」では、小学生が慣れないのこぎりに悪戦苦闘しながらも、一生懸命丸太を切る姿が見られました。



1チーム5人で重量約300kgの丸太を運ぶ早さを競う「流送レース」では、10チームによる熱い戦いが繰り広げられました。

## 日高山脈に棲むという 伝説の竜を守護神に 樹々に感謝を捧げる

「陸上自衛隊第1特科団音楽隊」の演奏会では、当町の合併10周年を記念し、日高町伝統舞踊保存会、日高婦人会、レイアロハの踊手さんの共演による「日高小唄」「日勝小唄」が披露されました。

日高町と平取町の児童生徒で構成されるダンスサークル「SOUTHWAVE」によるステージでは、幼児の可愛らしいダンスから、高校生の迫力あるダンスも見られました。



「Wayra Japan」による南米民族音楽のライブステージでは、「コンドルは飛んでいく」「ランバダ」など、日本でも馴染みのある楽曲の演奏が披露されました。

まつりの最後には「もちまき」が行われ、笑顔のあふれる2日間を締めくくりました。

